

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会 芦北支部

芦北地域のイチゴ栽培におけるIPMの推進

J A あしきたでは平成27年から農業参入し、36aでイチゴの高設栽培を行っており、栽培技術の向上が課題となっています。

このような中、芦北支部では昨年度、「野菜産地育成実証展示ほ事業」を活用し、ハダニ天敵導入によるIPM防除効果を確認しました。その結果、11月上旬に天敵を放飼することで、ハダニを春先まで低密度に抑制できました(図1)。本年度は、ハダニの天敵製剤として新たに開発された「バンカーシート」を用いたIPM防除展示ほを設置し、防除効果を確認する予定です。

また、5月中旬に、2戸の生産者のハダニ薬剤感受性検定を実施した結果、生産者間で感受性に大きな差が見られることや、使用頻度の高い薬剤では、著しく感受性が低下していることが確認できました。

当支部では、展示ほ試験や感受性検定で得られた結果をイチゴ部会員にも伝達し、天敵導入や効果的な薬剤ローテーションを推進し、IPMの取組みを進めていきます。



写真1 天敵放飼の様子

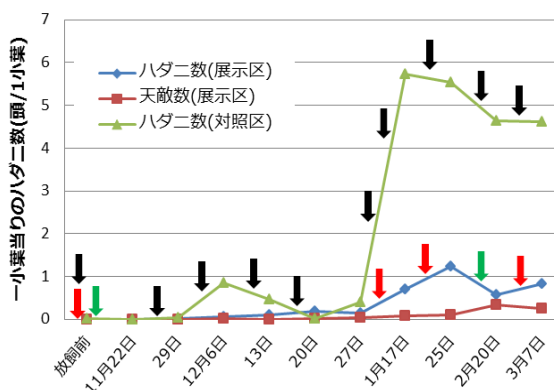


図1 天敵導入展示ほ結果